

## 第9回全固体電池学術共同研究拠点 全固体電池研究セミナー

主催:大阪公立大学研究推進機構全固体電池研究所

共催:粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

日時:令和6年11月19日(火)15:00～16:30

場所:大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A12棟 ※zoomを利用したハイブリッド開催

参加費:無料

講師:中村 浩 氏 (株式会社豊田中央研究所 理事、スラリー研究領域リーダー)

講演要旨:カーボンニュートラルの流れの中で、モビリティの電動化とともに、それに必要な電池製造工場からのCO<sub>2</sub>排出の低減も求められている。電池作製工程の中で電極塗工工程の乾燥炉の乾燥や空調のエネルギーが占める割合が非常に大きい。そこでこの乾燥工程のCO<sub>2</sub>排出低減のために塗工工程でのスラリーの溶媒量の低減(高固形分濃度化)や溶媒を用いないドライ成膜が検討されている。高固形分濃度スラリーの塗工で、高品質と高性能を両立させるためには、スラリーのレオロジー挙動を制御することが重要である。また、ドライ成膜の実現のためには、粉体の複合化技術や成膜制御技術、定量評価技術が重要である。今回、成膜プロセスの革新に必要な高濃度スラリーのレオロジー制御技術、ドライ成膜の動向や具体的な必要技術を紹介する。

参加申込:以下よりお申し込みください。

•formsリンク <https://forms.gle/JyfNGmFUqd1qb8ja9>

問合せ先:大阪公立大学 全固体電池研究所 (学術共同拠点事務局)

Mail: [gr-knky-assb@omu.ac.jp](mailto:gr-knky-assb@omu.ac.jp)

Tel:072-254-8327